

佐賀県知事 様

住 所	佐賀市松原 1-3-5 まるなかビル6階
団 体 名	特定非営利活動法人 アジアパシフィックアライアンス・ジャパン
代表者職・氏名	代表理事 根木 佳織

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和2年5月5日付け県協第259号、令和2年8月6日付け県協第867号、令和2年10月30日付け県協第1425号、令和3年2月2日付け県協第1990号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和2年度寄附金活用実績報告書

事業名	災害緊急支援の拠点づくり、空飛ぶ捜索医療団（緊急災害時の被災地・被災者支援）
寄附受入額	39,639,605 円
事業内容（いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載）	
<p>1. 空飛ぶ捜索医療団 事業</p> <p>■期間：2020年4月</p> <p>■場所：長崎※佐賀からの派遣</p> <p>■受益者：クルーズ船乗客者及び従業員、長崎県、長崎市</p> <p>■事業の要旨：長崎市の三菱重工業長崎造船所香焼工場に停泊中のイタリア籍クルーズ船「コスタ・アトランチカ号」で、新型コロナウイルスのクラスター感染が起こった。長崎県からの要請を受け、「空飛ぶ捜索医療団 ARROWS」事業として、4月28日より医師・看護師を含むチームを現地に派遣した。また、佐賀で保管している災害支援用トレーラーも佐賀から派遣しチームスタッフの休憩場所として活用した。</p> <p>■期間：2020年4月～2021年3月現在（一部継続実施中）</p> <p>■場所：佐賀大学医学部附属病院、大阪淀川キリスト教病院、米盛病院（鹿児島）、上村病院（佐賀）※すべて佐賀からの派遣</p> <p>■受益者：医療従事者、新型コロナウイルス感染者および感染疑いのある患者</p> <p>■事業の要旨：大阪淀川キリスト教病院にトレーラー1台、佐賀大学医学部附属病院にトレーラー2台、大型テント1張、エマージェンシーテント1張、米盛病院にトレーラー1台、エマージェンシーテント2張、上村病院にトレーラー1台を貸与した。活用目的は医療機関での院内感染を防ぐため、発熱者を病院敷地内にて待合い、検査、診察するための施設として活用された。</p> <p>2. 民間セクターとの連携強化事業</p> <p>■期間：2020年1月～2021年3月</p> <p>■場所：国内、中国</p> <p>■受益者：医療従事者、医療機関、新型コロナウイルス感染者および感染疑いのある患者</p> <p>■事業の要旨：1月以降、コロナウイルス感染拡大に伴い、マスクや消毒液が全国的に枯渇した。特に医療現場の深刻な状物資不足を少しでも緩和するため、村上財団、認定NPO法人フローレンス、東京医師会、千葉県医師会などと協力し、全国の小規模医療機関や医療的ケア児童へ配布を開始、徐々に児童施設や高齢者施設、福祉施設などにも広げていった。多くの感謝のメッセージが寄せられた。（支援マスク数：医療機関・介護施設90万枚以上、NICU/新生児特定集中治療室や医療機関へサージカルマスク140万枚）</p> <p>■期間：2020年7月～2020年8月</p> <p>■場所：熊本県人吉市、大分県日田市、福岡県久留米市</p> <p>■受益者：被災者</p> <p>■事業の要旨：令和2年7月豪雨被災者支援。7月3日から約1ヶ月にわたり日本付近</p>	

に停滞した前線の影響で、暖かく湿った空気が継続して流れ込み、大雨による被害が発生した。特に 熊本県南部 では 記録的豪雨 により 7 月 4日球磨川が氾濫し、各地で土砂崩れや浸水被害が発生した。人吉市では町全体が水に浸かり、住宅などで大規模な浸水被害が発生した。7 月 4 日、A PAD ジャパンは佐賀市内の倉庫に備蓄していた マスク等の 支援物資を車両に搭載し 人吉市内 で 調査 と初動での支援 を開始 。以降、佐賀から車で 複数回にわたって 8 月末までの約 2 か月にわたり 物資の 支援を継続した。また、大分県 日田市、福岡県 久留米市 の避難所等へ 支援物資を届けた。現地の物資のニーズを確認しながら、SEMA や九州豪雨災害支援コンソーシアム 他、企業 への支援要請を行い、連携して 支援内容も幅広く行うことができた。主な支援内容は下記の通り。

日付	支援先	支援内容	他、協力企業と支援物資
7/4	人吉スポーツパレス (避難者約 500 名)、人吉東小学校 (避難者約 40 名) 4 日現在	避難所運営ハンドブック、マスク大人用 9,000 枚、子ども用マスク 1,800 枚、消毒液 500ml×14 本 (+20L)、非接触型体温計 30 個	ゼリー飲料 1,260 食 (森永製菓様) クリーム+ローション 400 本 (山田養蜂場様)
7/6	人吉市立第一中学校 (人吉市)、旧県立多良木高校 (多良木町)	非接触型体温計 3 台、エマージェンシーテント 10 張、ブルーシート 10 束、家庭用塩素系漂白剤 24 本、靴下 6,000 足、下着 1691 枚、肌着 961 枚、給水袋 100 枚、大人用おしりふき 624 パック、赤ちゃん用おしりふき 480 パック おしぼり 1,100 個、ウェットティッシュ 128 個、子ども用おむつ 47 パック、箱ティッシュ 72 箱 ・協力企業ご提供物資	水ペットボトル 2,400 本 (SEMA/Oisix 様) ゼリー飲料 3,600 個 (森永製菓様)
7/8	北野生涯学習センター (久留米市北野町)、北野小学校 (久留米市北野町)	非接触型体温計 2 個、マスク 2,540 枚、家庭用塩素系漂白剤 16 本、靴下 1,300 足	枕 114 個、バスタオル 114 枚、マットレス 14 枚 (IKEA 福岡新宮様) ゼリー飲料 720 個 (森永製菓様)

7/9	人吉市立第一中学校 (人吉市)、旧県立多良木高校(多良木町)、球磨村総合運動公園	扇風機4台、ブルーシート5束、ボールペン・メモ帳1箱、蚊取り線香10缶、靴下6,000足	肌着(上)2,020枚、 肌着(下)2,000枚、 子ども用肌着(上)1,995枚、 子ども用肌着(下)501枚 (SEMA/GUNZE様) キャリーバッグ300個、 電源タップ50個、 乾電池10ps×30個、 時計30個、 衣類ケース130個(IKEA福岡新宮様) 運送(SEMA/ハート引越センター)
7/10	人吉第一中学校、筑後川コミュニティ財団	大人用マスク750枚、子ども用マスク120枚、消毒液6本、のど飴1袋	マットレス130枚(SEMA/三井化学様) マットレス83個(SEMA/スノーピーク様) 運送(SEMA/ハート引越センター) ゼリー飲料216食(森永製菓様) 化粧品50個(山田養蜂場様)
7/11	おもやいボランティアセンター	非接触型体温計6個、マスク500枚、消毒液4本	ゼリー飲料2箱(森永製菓様)
7/16	人吉スポーツパレス		肌着(上)100枚、肌着(下)100枚(SEMA/いづみ様) 長袖カーディガン100枚、半袖Tシャツ200枚、小児用半そでTシャツ200枚(SEMA/アダストリア様) 小児用靴下210足(SEMA/福助様) 枕36個、スリッパ125足、マットレス31個(IKEA福岡新宮様)
7/16	久留米市災害ボランティアセンター		Tシャツ200枚(SEMA/アダストリア様) 大判タオル50枚、ハンドタオル48枚(IKEA福岡新宮様) ゼリー飲料360食(森永製菓様) 靴下200足(レフロジャパン様) マスク250枚(ZFジャパン様)

7/21	人吉スポーツパレス 人吉第一中学校 人吉市社会福祉協議会 (ボランティアセンター)		肌着 (上) 70 枚、 肌着 (下) 100 枚 (SEMA/いづみ様) 半袖 T シャツ 360 枚、 小児用半そで T シャツ 100 枚 (SEMA/アダストリア様) キャミソール 80 枚 (SEMA/千趣会様) 小児用靴下 100 足 (SEMA/福助様) ゼリー飲料 50 箱 (森永製菓様)
7/21	リエラ天ヶ瀬活動拠点	非接触型体温計 2 個	半袖 T シャツ 200 枚 (SEMA/アダストリア様) 小児用肌着 (上) 60 枚、 小児用肌着 (下) 60 枚 (SEMA/千趣会様) ゼリー飲料 180 食 (森永製菓様)
8/6	リエラ天ヶ瀬活動拠点		スリッパ 150 足 (九州豪雨災害支援コンソーシアム/住友商事様) ゼリー飲料 48 食 (九州豪雨災害支援コンソーシアム/大塚製菓様) マスク 1,200 枚 (九州豪雨災害支援コンソーシアム/スリー・アールシステム様) 布マスク 500 枚 (九州豪雨災害支援コンソーシアム/L is B (エルイズビー) 様) リステリン 432 本 (SEMA/ジョンソン・エンド・ジョンソン様) 半袖 T シャツ 110 枚 (Beams 様) ゼリー飲料 828 食 (森永製菓様) ローション&クリーム 300 個 (山田養蜂場様) アルコール消毒液 24 本 (サンクゼール様)

8/10	人吉スポーツパレス	お茶 120 本、洗眼薬 44 個	<p>シーツ 258 枚 (IKEA Japan 様)</p> <p>リステリン 240 本 (Johnson & Johnson 様)</p> <p>マスク 850 枚 (九州豪雨災害支援コンソーシアム/住友商事様)</p> <p>ウェットティッシュ 24 個、お茶 120 本、防塵マスク 3000 枚 (九州豪雨災害支援コンソーシアム/グッデイ様)</p> <p>ゼリー飲料 192 食 (九州豪雨災害支援コンソーシアム/大塚製菓様)</p> <p>ゼリー飲料 360 食 (森永製菓様)</p>
8/10	球磨村さくらドーム	お茶 240 本	お茶 120 本 (九州豪雨災害支援コンソーシアム/グッデイ様)
8/10	人吉市ボランティアセンター	お茶 240 本	<p>塩飴 40 袋 (九州豪雨災害支援コンソーシアム/グッデイ様)</p> <p>ゼリー飲料 180 食 (森永製菓様)</p>
8/11-12	人吉スポーツパレス	男性用肌着 (下) 359 枚、靴下 50 枚	<p>男性用肌着 (下) 359 枚、靴下 50 枚</p> <p>・協力企業ご提供物資</p> <p>女性肌着 (上) 300 枚 (SEMA/千寿会様)</p> <p>女性用肌着 (下) 300 枚 (SEMA いずみ)</p> <p>女性用半袖 T シャツ 300 枚 (SEMA/アダストリア様)</p> <p>男性用半袖 T シャツ 300 枚 (SEMA/アダストリア様)</p> <p>靴下 483 枚 (レフロジャパン様)</p> <p>作業用ズボン 151 枚 (九州豪雨災害支援コンソーシアム)</p>
8/27	人吉スポーツパレス		<p>・リステリン 792 本 (Jhonson & Jhonson 様)</p> <p>・除菌ウェットティッシュ 82 本、お茶 360 本、ゼリー飲料 192 食、体拭きシート 8 箱 (九州豪雨災害支援コンソーシアム)</p>

■期間：2020年4月～2021年3月

■場所：佐賀市内

■受益者：被災者

■事業の要旨：災害支援のための設備保管と物資備蓄。佐賀県および佐賀市より物資や車両の保管用スペースを無償で提供を受け、活動の幅を広げるとともに、さらなる行政との連携を強めることができた。トレーラー等の日常点検、倉庫管理業務を継続的に実施した。主な倉庫と物資は以下の表のとおり。

場 所	提 供	物 資
佐賀空港内倉庫	佐賀県	感染症対策物資、マスクなど
佐賀競馬場駐車場	佐賀県	アメリカントレーラー（6台）※CF所有 ヨーロッパントレーラー（6台）
久保田支所車庫	佐賀市	テント、洗剤等
久保田支所北庁舎	佐賀市	簡易トイレ、パーテーション、日用品等
大和支所	佐賀市	オムツ類など

3. 防災・減災の強化事業

■期間：2020年7月

■場所：佐賀県内

■受益者：佐賀県民

■事業の要旨：避難所運営はじめてハンドブックの作成・配布。コロナ禍＋自然災害発生という複合災害の避難を想定し、避難所運営のガイドラインとしてハンドブック2,000部、ポスター2種類500部を作成、まずは佐賀県に贈呈した。その後県内すべての市町にも贈呈し、またA-PADジャパンホームページからもダウンロードできるよう公開している。

■期間：2020年11月

■場所：佐賀県及び全国

■受益者：一般市民

■事業の要旨：個人用衛生キットの備蓄。コロナ禍の災害発生時に避難所にいち早く届けられるよう、感染症から身を守る個人用の衛生キットを用意した。資金は佐賀県のふるさと納寄付にて327万円もの寄付により、キット800セット以上を作成することが可能となった。

■期間：2020年4月～2021年3月

■場所：佐賀市、武雄市、大町町

■受益者：佐賀市、武雄市、大町町の住民

■事業の要旨：行政との連携。

- ・佐賀市にサーモグラフィ体温計無償貸与：コロナ感染拡大を受け、防災協定を締結している佐賀市に対し、サーモグラフィ体温計1台を無償貸与した。本庁の危機管理室の入口等で活用されている。
- ・武雄市と防災協定締結・サーモグラフィ体温計無償貸与。1月28日に佐賀県武雄市（小松政市長）と災害時等における支援協定を締結した。武雄市には2019年の佐賀豪雨の際に特定非営利活動法人アジアパシフィックアライアンス・ジャパン10ブルーシートなどの物資支援を行ったほか、今年11月にはコロナ禍の災害に備えてサーモグラフィ体温計グラフ

イ体温計 44 台を無償で貸与した。市町との支援協定は佐賀市、大町町に次いで 3 番目となった。

事業実施の成果・効果（見込み）

1. 平時からの行政や企業、支援団体との連携により、災害発生直後から、より迅速に情報を収集し被災地に支援を届ける緊急対応と、また新型コロナウイルス感染対策においては長期化した感染拡大を押さえる防災の観点からも一定の効果をあげることができた。
2. ふるさと納税をはじめとする寄附金や企業からの寄附金によって購入した支援物資や企業からの無償の支援物資の備蓄により、より迅速に被災地に支援物資を届けることができ、また将来の災害に備えた準備を進めることができた。
3. 姉妹団体と運営する ARROWS の事業により、医療支援を実施することができた。
4. 国際機関 A-PAD の一員として、そのネットワークを生かし中国への新型コロナウイルス感染拡大防止の支援を実施することができた。

収 支 決 算 書

事業名		災害緊急支援の拠点づくり、空飛ぶ捜索医療団（緊急災害時の被災地・被災者支援）	
区 分		決算額（円）	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	39,639,605	第1回交付： 3,631,850円
			第2回交付： 10,877,955円
			第3回交付： 6,528,600円
			第4回交付： 18,601,200円
		収入計	39,639,605
支 出	1) 事業費		
	人件費	2,340,000	給与等
	業務委託費	1,820,000	パートナー事業費等
	旅費交通費	1,690,000	ガソリン代等
	消耗品費	220,000	事務用品等
	支援物資購入費	3,100,000	
	航空機関連費	11,660,000	航空機返済費、保険料、燃料費など
	その他	10,142,605	印刷製本費、会議費、通信運搬費、駐車料等
	2) 管理費		
	・返礼品関係		
	返礼品の調達に係る費用	8,200,000	
	返礼品の送付に係る費用	7,000	
	広報に係る費用	454,000	
	事務に係る費用	6,000	
	3) 次年度への繰越金	0	
	支出計	39,639,605	

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。
 経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。